

平成25年度 兵庫県立湊川高等学校 学校評価表

学校教育目標	(1) 綱領「誠実・協同・自由・自治」の精神を踏まえ、勤労を尊び学ぶ意欲を大切にし、自己教育力の養成に努める。 (2) 生徒一人一人の個性を尊重し、しなやかにたくましく生きる力を育む。 (3) 地域・社会に貢献できる人材づくりを通じて、地域に開かれた魅力ある学校づくりに努める。	重点目標	(1) 人間としての不可欠な倫理観の育成と人権尊重の精神に基づく教育の充実を図る。 (2) 自ら学ぶ意欲の育成と基礎的・基本的な学力の定着を図る。 (3) 定時制高校としての特色を生かした地域に開かれた魅力ある学校づくりを進める。 (4) 震災の教訓を生かす「兵庫の防災教育」を推進する。 (5) 国際理解教育を推進する。 (6) 教職員の研修の充実と実践的指導力の向上を図る。
---------------	---	-------------	--

*) 評価の数値は、実践目標の達成状況を全教員により 4 段階で評価した平均点である。(4 : よくできた 3 : できた 2 : あまりできなかった 1 : できなかった)

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	成果と課題	評価	評価
					H 2 4	H 2 5
I 学校経営	1 開かれた学校づくり	①家庭や地域への情報発信	(1) ホームページや湊川新聞を通して、学校行事等の事前広報やその実施結果に関する情報を可能な限り公表するとともに、定期的にその内容を更新する。	ホームページや新聞を通じてが校内の様子がよく理解できるので、今後も継続を望みます。	3.4	3.4
		②学校評議員制度の学校運営・改善への活用	(1) 学校評議員と本校教職員との意見交換の場を設けるなどして、学校運営等の改善に役立てる。	今年度オープンハイスクールの様子など学校行事について、実際に見ることができました。非常に良い取組だと思えます。	3.2	3.0
	2 生徒指導	①生徒指導方針の明確化とその評価による指導体制の推進	(1) 生徒指導方針を職員、生徒に示し、定期的にその方針の達成状況を確認しながら、生徒指導を推進する。	生徒校外での様子については時々報告させてもらっている。いろいろな生徒がいる中で、先生方にはよく頑張ってもらっていると思う。	3.4	2.7
			(2) 高校生心のサポートシステム「不登校生徒支援実践・研究」指定校として意欲的に研究・実践を行う。	平成22年度から4ケ年、「高校生心のサポートシステム（不登校生徒支援実践・研究）」指定校として積極的に取り組まれました。平成26年度も指定校として実践を継続して行ってください。	3.4	2.8
		②生徒の内面理解を図る指導方法の工夫	(1) いじめに関するアンケートを実施し、生徒の抱える悩み等を把握する。	生徒の居場所づくりという観点から学校の果たす役割の模索を今後も継続して欲しい。	3.3	3.3
			(2) 人命尊重の精神を柱とする安全教育を徹底し、事故や災害への危機管理体制を整備する。	いじめ・体罰のない安全・安心できる学校づくりに努力されている様子がひしひしと伝わってくる。日頃の人間関係が非常に重要だと感じました。	3.2	3.1

I 学校経営	3 進路指導	①進路指導体制の充実	(1)卒業を見据えて、進路指導に関する計画を作成するとともに、「進路の手引き」等を作成し、組織的・継続的な進路指導を実施する。	就職に対する意識付けが功を奏し、就職難の中にあって高い就職内定率を納めている。卒業後の進路選択のために必要な力をどうやってつけるか、先生方には大変だと思うが頑張りたい。	3.6	3.4
		②職業観・勤労観の育成	(1)外部講師等による進路講演会等を開催し、生徒の職業観・勤労観を育成する。	様々な機会をみつけて職業観や勤労観を養う為の工夫がされていることはよく理解できた。勤労歴や学校歴に様々な生徒がいて一律には行かない所があるが今後も多くの機会を設けていただけたらと考える。	3.6	3.4
	4 教職員の資質向上	①実践的指導力の向上	(1)公開授業及びその後の授業検討会ができる体制を整え、また大学などの出前授業などを実施し指導力向上につとめる。	手作りプリントの作成やPCや大型モニターを利用するなど授業に新しい展開がなされており、生徒の授業への興味を持たせるための工夫もされており生徒も真剣に授業に取り組んでいる。	3.4	3.2
		②計画性をもった研修の実施	(1)各部・各委員会の協働により、学校の諸課題に関する校内研修を計画的に立案する。	様々な業務の中で、多様な研修会を実施し研鑽されている。	3.5	3.1
	5 危機管理体制の整備	①実践的な研修・訓練の実施	(1)危機管理マニュアルの点検及び改善を行う。	阪神淡路大震災から19年を迎え、記憶を風化させないように黙祷・震災講話・震災ボランティア等を実施されている。東日本大震災など大規模災害に遭った時の生徒と学校の安全を守るための対応をお願いしたい。	2.7	3.1

II 教育課程	1 自ら学び自ら考える力の育成	①体験的・問題解決的な学習の展開	(1)各教科,高校生ふるさと貢献事業等において体験的・問題解決的な学習を推進し、特別活動との連携を図る。	ふるさと貢献事業のボランティア活動を通して、地域とに馴染み、絆が強まっているように感じます。今後もふるさと貢献事業を継続して行って欲しい。	2.9	3.3
		②生涯教育の視点に立った実践能力の育成	(1)生徒の興味・関心に基づき、調べたりまとめた内容を発表するなどの言語活動を取り入れた学習指導を工夫し実践する。	今年度も「校内生活体験発表会」において自ら体験をまとめ、発表するといった実践能力の向上を目指した学習が行われた。また、ホームルームや総合的な学習の時間や学校行事などにおいて自らの意見や感想をまとめる練習を行った。	2.9	3.1
	2 基礎・基本の定着	①学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	(1)日々の授業を大切にし、学習に取り組む態度や姿勢を養うために、基礎・基本が定着する教科の指導方法を工夫し、実践する。	手作りプリントの作成や各教室に設置された大型モニターを通じて、様々な授業の工夫がなされていると感じた。授業を見せていただいでしっかり授業をうければ生徒は必ず力を付けることができると感じた。	3.5	3.3
		②評価規準の設定	(1)より計画的な指導を推進するために、シラバスや年間指導計画の整備を行う。	何をどう評価するかということをあらかじめ生徒に知らせることで生徒も励みになると思う。	3.6	3.6
	3 個に応じた学習指導の徹底	①評価方法の創意工夫	(1)評価方法について各教科の評価に対しての共通理解を図り、評価方法の研究を行う。	今後も評価方法について検討していただければと思う。	3.1	3.3
		②指導形態の工夫	(1)習熟度別授業や少人数指導の深化を図るとともに、チームティーチングによる指導などの工夫を行う。	いろんな生徒がいる中で一人の先生ではなく、複数の先生の指導があれば、教科指導も配慮が行き届くと思う。今後も継続して欲しい。	3.4	3.3

Ⅲ 課題教育	1 健康教育と安全教育の充実	①生涯にわたる健康の基礎を培う指導の工夫	(1)「保健室だより」を発行するなど保健室の機能を生かし、適切な健康管理・保健指導を行う。	保健室の機能は多岐にわたり大変な業務であると思う。日々の病気やケガ以外にカウンセラー的な役割などもあり、生徒も頼りにしていると思う。	3.6	3.5
		②給食を通じた健康管理	(1)給食を通して、望ましい食の知識を身につけ、それを自己の健康管理に生かす指導の工夫を行う。	給食については学校外の多くの人からきかれることであり、湊川高校の大きな特色であると思う。食ることが基本であるということ認識させるいい機会であると思う。	3.3	3.4
	2 人権教育	①人権教育推進体制への取組	(1)人権教育推進委員会を中心に、人権映画会等を計画し、人権を尊重し合う仲間づくりを目指した人権教育を推進する。	お互いを思いやり、尊重し合える仲間づくりを目指した人権教育が展開されている。今後も、その方針で人権教育を推進していただきたい。	3.4	3.3
	3 国際理解教育	①異文化理解の深化	(1)「朝鮮語」、英語、総合的な学習の時間等において、異文化理解を深める。	朝鮮語を必修で学ぶことができるのは非常に珍しいと聞いている。外国語といえば英語と思う人が多いのではないか。これも湊川高校の特徴の一つであり、更に発展させていただければと思う。	3.2	3.4
			(2)海外修学旅行に向けての事前事後学習で、訪問国の歴史・文化・生活習慣等を調べる学習を行い、それらを発表するなどの指導を行う。	生徒がどのように修学旅行を希望しているのかについては検討いただければと思うが、修学旅行で韓国に行くことの意義も大きいと思う。	2.9	3.1
	4 学校の個性化	①体験活動の推進	(1)体験的な教育活動により、生徒の発想や主体性を生かし、生徒の意欲を引き出す教育活動を展開する。	生徒がクリーン作戦で学校周辺を掃除してくれているのは大変有り難い。日頃あまり接することのなくとも声を掛けるとしっかりと挨拶をしてくれる。これからはますます充実して欲しいことの一つである。	2.8	3.2
			(2)兵庫型「体験教育」の一環として高校生ふるさと貢献事業を活性化させ、地域に開かれた学校づくりを進める。	従来の活動に加え、地藏盆ボランティア活動・神戸マラソンボランティア活動・1/17防災ボランティア活動・おもちつき会・地域オープン講座(ユニーク講座：ふれあい書道)等積極的に地域に貢献されている。	3.0	3.1